

令和5年7月13日

大阪府立柴島高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

1 会議日時 令和5年7月13日(木) 15:00~16:30

2 開催場所 大阪府立柴島高等学校 校長室

3 委員

	氏名	資格	所属	出欠
会長	森田 英嗣	学識経験者	大阪教育大学 教授	○
副会長	山本 了照	地域の関係者	大阪市立淡路中学校 校長	○
委員	武田 緑	地域の関係者	Demo(教育ファシリテーター・武田緑事務所) 代表	×
委員	表西 貴文	地域の関係者	大阪市新大阪人権協会 評議員	×
委員	坂本 浩子	その他の関係者	大阪府立柴島高等学校後援会 会計	○
委員	坂元 直美	保護者	大阪府立柴島高等学校PTA 会長	○

4 事務局(学校側)

小畑 龍業(教頭) 三輪 真嗣(首席) 内田 清彦(首席) 中川 智子(人権教育主担)
堀 博俊(事務長) 森田 正良(校長)

5 次第

- 校長あいさつ
- 会長あいさつ
- 委員の紹介
- 事務局より報告
 - ・学校経営計画について
 - ・スクールポリシーについて
 - ・人権教育推進にかかわる年間方針について
 - ・各校務分掌及び学年の年間方針について
- 質疑応答

6 会議の概要

- 学校経営計画について(校長)
 - ・昨年度の学校運営協議会の意見も踏まえて作成している。ご確認をお願いします。
- スクールポリシーについて(事務局)
 - ・本校の取組は時代を先取りしてきたと言える。したがって、これまでの方向性と大きくは変わらない。ただし、できていない部分もあるので、これを機にきっちりやりたい。

- ・読解力の育成については、リーディングスキルテストによる科学的検証を行っている。学年によっては、教科書を読み取る力が数ポイントアップしている。
- ・生成AIへの対策も踏まえ、新たに「創造力」という語彙を入れている。
- ・社会的課題の解決に向けて、引き続きコアカリキュラム等での取組を進めていく。
- ・進路保障に関しては、総合型入試や自然科学分野への対応を強化したい。

○人権教育推進にかかわる年間方針について（事務局）

- ・学校経営計画と同様、昨年度の意見も踏まえて作成した。その後、教職員研修の計画が確定したので、追記している。
- ・今年度は3年ぶりにHR合宿に行くことができた。体感的ではあるが、やはり人間関係のトラブルが1年生は少ないように思われる。

【質疑応答】

委員) アドミッションポリシーに記載されている観点で入試の合否が決まると考えていいのか。

校長) 合否は入学者選抜の実施要項に基づいて行う。ボーダーゾーンの判定において、アドミッションポリシーに著しく合致しているかどうかということも判断材料の一つになる。

委員) スクールポリシーを達成するためには、入学してからのこともあるが、どのような生徒が受験するかということも大きい。柴島高校がどのような生徒を求めているのか、中学校の理解を得るためのアナウンスという観点も必要だと思う。

会長) 中学校ではアドミッションポリシーをどのように活用しているのか。

委員) 高校受験に際して各校のアドミッションポリシーを示して考えさせるなど、進路指導に活用している。

会長) 高校ではボーダーゾーンの判定だけか。

校長) 自己申告書の記載内容は、入学後、生徒が高校生活を円滑に送るための情報としても活用している。

会長) スクールミッションの最終形はいつ確認できるのか。

校長) 府教育庁が全校分をとりまとめて公表すると聞いている。

会長) 柴島高校のスクールミッションは、これまでやってきたことを文章化したものなので、とてもよいと思う。

○各校務分掌及び学年の年間方針について（事務局）

<総務・教務・生活指導・進路指導・保健・集団育成・自立支援・各学年の順にポイントを説明>

- ・広報に力を入れている。HPもリニューアルする予定。
- ・カリキュラムに関しては、新課程を円滑に進めていきたい。
- ・重点目標として、しっかりあいさつすることを掲げている。その成果がすでに顕れているのか、今年度は生徒たちがよくあいさつをするようになっていく。
- ・コロナは5類になったが、感染対策については引き続き行っていく。
- ・生徒会の取組が活発化している。「自分を語る」取組にも成果が出ている。
- ・各学年で人間関係を重視して取組を進めている。
- ・家庭環境の厳しい生徒が増加傾向にあり、生活指導にも工夫が必要。外部機関との連携も増えている。

【質疑応答】

委員) 中高連携に関しては、中学校の保護者説明会に来て話をしてもらおうという仕組みをつくってほしい。ぜひ協力してほしい。

会長) 地元中学校からの受験者数は？

校長) 今はすっかり少なくなっている。

委員) 柴島高校にどう導くことができるか、中学校の進路指導の課題でもある。

話は変わるが、中学校では、スマホを通じての人権侵害事象等が起こっている。今さらスマホの使い方を追いかけても、学校は追いつけない。ゲーム、マッチングアプリ、グリ下、OD等、どう防ぐのか。学校教育の範疇を超えているが、子どもたちを守らないといけない。

委員) 先日の保護者懇談で、柴島高校ではスクールポリシーにあるように指導してくれているのだとあらためて感じた。よい学校というのは口コミで伝わるのではないかと思った。柴島高校の先生方が子どもたちについてしっかり考えてくれていることに感謝している。

委員) 大阪の隅々まで柴島高校の名前が知れわたるくらいの情報発信をしてほしい。自分の子どもは柴島高校に入学して人生観が変わったと言っている。

委員) 中学校の先生が柴島高校にどういうイメージを持っているかが重要だ。その点で言えば、生徒の母校訪問が最大の広告塔になる。母校訪問でよい話を聞くと「行かせてよかった」と思う。

7 第2回学校運営協議会について

11月15日(水) 14:00~16:00 で開催(授業見学も予定)